



2026年3月27日  
株式会社みずほ銀行

## 「スパークス札幌・北海道 GX ファンド」への出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、脱炭素社会の実現および地域経済の活性化、産官学金連携によるGX（グリーントランスフォーメーション）分野の成長を後押しすることを目的とし、スパークス・グループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿部 修平）が運営する「スパークス札幌・北海道 GX ファンド」（正式名称：スパークス札幌・北海道 GX 投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」）への出資契約を締結しました。

本ファンドは、みずほ銀行が参画する産官学金コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido（2023年6月設立、以下、「TSH」）」が企画した北海道のGXプロジェクトに投資する官民共同のファンドです。TSHとして注力する8分野（洋上風力、次世代半導体、データセンター、水素、SAF、蓄電池、海底直流送電、電気及び水素運搬船）および再生可能エネルギーに関する北海道のGXプロジェクトを投資対象とします。北海道のGXプロジェクトの実現に貢献するとともに、国内外から北海道のGX投資に対する資金流入の呼び水になることをめざします。

本ファンドへの出資に加え、〈みずほ〉の強みを発揮し様々な関係者と連携することで、下記の取り組みに北海道とともに挑み地域創生の実現をめざします。

- 北海道がその国内最大のポテンシャルを活かして、日本の再生可能エネルギーの供給基地となること
- 北海道のGX産業の集積、それを支える北海道・札幌市の金融機能の強化（※）  
※金融庁から公表された「金融・資産運用特区実現パッケージ」において、2024年6月に北海道・札幌市が金融・資産運用特区の対象地域に決定されました。

〈みずほ〉は本取り組みを通じ、日本全体の持続的な成長とGXの推進に貢献していきます。また、2050年のカーボンニュートラルと持続可能な経済成長というゴールに向けて、お客さまとともに脱炭素化に挑戦し、我が国の産業構造転換の促進・産業競争力の強化によって、社会課題解決と経済成長の両立をめざしていきます。

## 1. スキーム図



## 2. ファンド概要

ファンド名	スパークス札幌・北海道 GX 投資事業有限責任組合 (通称：スパークス札幌・北海道 GX ファンド)
投資対象	主に、下記に掲げる TSH の 8 つの重点領域および再生可能エネルギーに関する北海道内の GX プロジェクト (1) 洋上風力 (2) 次世代半導体 (3) データセンター (4) 水素 (5) SAF (6) 蓄電池 (7) 海底直流送電 (8) 電気及び水素運搬船
運用代理人	スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社
運用期間	2036年2月1日迄

以上